

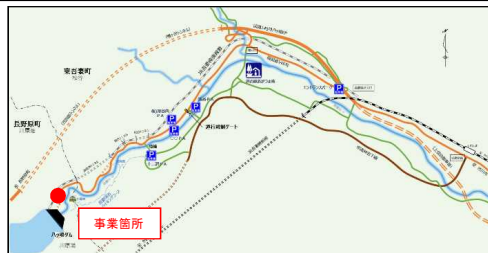
事業名：ハッ場ダム基金事業推進

所属・係名

ハッ場ダム水源地域対策事務所 建設係

1. 事業概要

ハッ場ダムの建設により国道145号が行き止まりになったことに伴い、ダムの上下流地域を結ぶ移動手段として、ダム天端とダム下をつなぐ観光用エレベータや名勝吾妻峡を巡るシャトルバス、JR吾妻線廃線敷を活用した自転車型トロッコの運行が計画されている。
 本事業は、これら多様な移動手段をつなぐ交通拠点として、シャトルバスの転回広場とともに自転車型トロッコの乗車場、ダム並びに名勝吾妻峡を望む展望広場をダム直下の濁水プラントヤード跡地に建設し、ダム湖周辺地域に訪れた観光客に対し、周遊観光の利便性向上と魅力ある空間を提供し、地域の観光振興に寄与するものである。



2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・国指定の史跡名勝「吾妻峡」内に位置しているため、土地の改変にあたっては、周辺環境との調和や在来動植物の保護など、特段の配慮を行ったうえで、文化庁の許可を得る必要がある。
- ・ダム直下に建設されるため、訪れた観光客が下流側を見たときに、名勝吾妻峡の一角に本施設を望むことになる。

3. 事業目的【ステップ2】

- ①現場から何を見せるのか
 - ・下流側から見上げるハッ場ダム堤体
 - ・四季折々の名勝吾妻峡
- ②どこから現場自体を見せるのか
 - ・ダム本体の天端から
 - ・ダム下の減勢工橋りょうや発電所苑地、名勝吾妻峡の高台(小蓬菜など)から
- ③目指すべき目標像
 - ・ダム上下流連携の拠点となり、観光客が安全かつ快適な時間を過ごせる空間の確保
 - ・名勝吾妻峡の植生や景観とも調和し、将来においても在来種を犯すこと無く共存できる施設
 - ・ダム及び名勝吾妻峡が望めるビュースポット

4. 配慮内容【ステップ3】 **完成** (整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中 (想定される内容) >

転回場法尻部には法尻保護と併せて観光客が腰掛けのスペースとして使えるように渓谷で採れた岩を並べる。

腰掛スペース

吾妻渓谷内を走行する「自転車型トロッコ」

展望広場・トロッコ乗車場

至 東吾妻町

至 八ッ場ダム

シャトルバス転回場

広場及び吾妻渓谷を魅せる。(周辺景観との調和した空間、トロッコ施設)

吾妻渓谷
広場からの景観

ハッ場ダムを下流から展望するための視点を確保する。

広場からの景観

切土部では渓谷の在来種子を繁茂させ、周辺景観と調和を図るために植生マット(種子無し)を採用。

歩道空間と車道空間を視覚的に分ける